クリニカルラダー到達目標

※2018年度４月より「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を参考にレベルⅠから導入

2021．3．25作成

			臨床能力段階				
			レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
具体的なレベル			初心者	新人	一人前	中堅	達人
レベル毎の定義			基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
取得年数の目安			概ね1年	概ね2～３年	概ね３～６年		
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	□自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる □看護理論に基づいた看護過程の展開が指導を受けながらできる	□ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる □得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる □看護理論に基づいた個別的な看護過程の展開ができる	□予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる □ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		【行動目標】	□指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる □指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる □看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	□ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる □ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる □ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	□ケアの受け手の個別性に合わせて、適切なケアを実践できる □ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる □ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映ができる	□ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる □幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる □複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる □助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる □ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる □連絡・報告・相談ができる	□ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる □関係者と密にコミュニケーションを取ることができる □看護の展開に必要な関係者を特定できる □看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	□ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる □ケアの受け手とケアについて意見交換できる □積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	□ケアの受け手がおかれている状況（場）を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる □多職種間の連携が機能するように調整できる □多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	□複雑な状況（場）の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる □多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる □関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる □目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる □助言を受けて、看護師の倫理綱領に基づいた自己の行動を述べることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる □確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる □看護者の倫理綱領に基づいて自己の行動を評価できる □看護実践をとおして、倫理的問題を提示できる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる □事例をとおして、倫理的アセスメントができる □アセスメントに基づき、倫理的意思決定ができる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる □倫理的感性を高める指導ができる □患者の擁護者や代弁者として意図的に行動できる	□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる □法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる □倫理事例検討のファシリテーターができる。

キャリアラダー到達目標

レベル毎の定義			基本的知識・技術の獲得を通して看護師の役割を果たす	チーム内での自己の立場や役割を認識し責任を果たす	チーム内での役割を体験しリーダーシップ能力を獲得する	自己の能力や適性を考えて専門・関心領域を模索する	自己の専門・関心領域を明確にする
組織的役割遂行	看護管理	【レベル毎の目標】	病院・看護局の理念・方針、所属部署の目標を理解し、自己の目標を達成できる	病院・看護局の理念、方針、目標を理解し、所属部署の目標達成に向けて行動できる	病院・看護局の理念、方針、目標に基づき、所属部署の目標達成に向けて他者に働きかけることができる	病院・看護局の理念、方針、目標に基づき、所属部署の目標達成に向けてリーダーシップを発揮できる	病院・看護局の理念、方針、目標に基づき、所属部署を越え、目標達成に向けてリーダーシップを発揮できる
		【行動目標】	□看護局・看護単位・チームの目標を述べることができる □助言を受けて、自己の業績目標の行動計画に沿って実践できる	□自己の業績目標を設定し実践できる	□自己の業績目標を設定し達成できる □経済性（人・物・金・時間・情報）を考慮して行動できる	□自己の業績目標を達成する為に、他者と協力できる。 □日常業務において、経済性を考慮した指導ができる	□自己の業績目標を達成する為に、部署内外において積極的に活動できる □管理的視点をもって業績目標を設定し、実践できる
	リーダーシップ	【レベル毎の目標】	看護チームの一員であることを理解し、指導を受けながらメンバーナースとして行動できる	メンバーナースとして行動できる 日々のリーダーナースの役割を理解できる	リーダーナースの役割を理解し、指導を受けながら日々のリーダーナースとして行動できる	リーダーナースとして行動できる	師長代行の役割を理解し行動できる
		【行動目標】	□チームの一員としての役割を理解できる □チームメンバーとしての役割行動が指導を受けながらできる	□チェックリストに沿ってメンバーナースとしての役割行動をとることができる □チェックリストに沿って日々のリーダーナースの役割を理解できる	□チェックリストに沿って日々のリーダーナースとしての役割行動をとることができる	□チェックリストに沿ってチームリーダーナースとしての役割行動をとることができる	□チェックリストに沿って師長代行としての役割行動をとることができる
自己教育・研究	後輩指導	【レベル毎の目標】	組織の一員として、新人教育プログラムに沿って主体的に知識・技術の習得ができる	先輩看護者として後輩に意図的・教育的に関わることができる	プリセプターまたは先輩看護者として後輩に意図的・教育的に関ることができる	専門的知識や根拠に基づいてチームメンバー、学生、研修生の指導ができる	指導的立場で、院内における教育活動に主体的に取り組むことができる
		【行動目標】	□自分の得た知識・技術到達度を指導者に分かるように伝えることができる	□後輩を尊重した関わりができる	□プリセプティまたは後輩を尊重した関わりができる □プリセプティまたは後輩のニーズを理解したかかわりができる	□学生または後輩の立場を尊重し、適切な指導ができる。 □学生または後輩のニーズを理解し、専門的知識や理論的根拠に基づいた指導ができる □アソシエートナースとしての役割行動をとることができる	□委員会、チーム活動、研修講師、部署内担当者として計画的に教育活動を実施できる。 □ファシリテータとしての役割行動をとることができる。
	研究	【レベル毎の目標】	日常の看護実践におけるEBNの重要性を理解できる	日常の看護実践におけるEBNを述べることができる	看護研究計画書作成に必要な知識と実際を理解できる	日常の看護実践における疑問を看護研究の一連のプロセスに沿ってまとめることができる	
		【行動目標】	□日常の看護実践における疑問を述べることができる □文献の検索方法を理解できる	□文献検索を通して日常の看護実践のEBNを述べることができる	□看護研究計画書の作成ができる	□研究計画書に沿って実践できる □研究発表ができる	

別表2